

花火伝統文化継承資料館清掃業務委託（長期継続契約）仕様書

1. 委託業務名 花火伝統文化継承資料館清掃業務委託（長期継続契約）
2. 履行期間 令和8年 4月 1日 ～ 令和9年 3月31日
（地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約）
3. 業務場所 花火伝統文化継承資料館（別館含む）
4. 業務仕様
 - （1）受注者は、業務の円滑な運営、及び業務に係る従事者の指導等を統括するために、ビルクリーニング技能士・清掃作業監督者・建築物環境衛生管理技術者のいずれかの資格を有する者を業務責任者に定めること。
 - （2）高所ガラス清掃については、危険な高所作業であることを熟知し、ブランコ作業を行う場合は、「一般財団法人 全国ガラス外装クリーニング協会連合会」等の、ロープ高所作業に係る教育を修了した者を責任者に定めること。
また、高所作業車を使用する場合は、安全が確保できる場所に設置すること。
特に敷地内には路盤構成上、重機の乗り入れができない箇所があるので、十分な確認を行ったうえで高所作業車を使用すること。
 - （3）市の新たな観光拠点であることに留意し、従事者に教育を行うこと。
5. 業務内容 別紙参照
6. 業務日と時間帯
 - （1）日常清掃業務
業務日：令和8年4月1日～令和9年3月31日
ただし、休館日の翌日の毎週火曜日（休館日の月曜日が祝休日にあたる場合は翌平日の翌日）及び、令和8年12月29日～令和9年1月3日を除く
業務時間帯：午後1時15分～午後5時15分の間
 - （2）定期清掃業務
業務日：発注者、受注者協議の上決定するが、原則として休館日に行うこととする。
 - （3）作業における各場所の作業時間等については、発注者と協議すること。
 - （4）イベント等、特別な行事がある場合においては、上記によらず、発注者、受注者協議の上決定する。
7. 清掃資機材・消耗品等
 - （1）業務実施にあたり、必要となる清掃用資機材等については、受注者の負担とする。ただし、電気・ガス・水道の使用料は除く。
 - （2）電気・ガス・水道等を使用する場合は、極力節約に努めること。
 - （3）次に掲げる消耗品等については受注者の負担とする。
 - ①トイレトーパー
 - ②各種ゴミ袋

8. 注意事項

- (1) 市の新たな観光拠点として位置づけられる施設であることから、観光旅行者や市民等の来館者に対し、不快な思いを抱かせることのないよう、接遇の向上に努めること。
- (2) 受注者は、業務関係者に作業衣等を着用させ、業務に従事する者であることを明確にすること。
- (3) 作業実施にあたっては、来館者及び館内で執務する職員等に、支障のないよう十分注意すること。
- (4) 精密機械・機器の設置場所の作業にあたっては、衝撃・ゴミ・火気及び湿気等が発生することがないように、十分注意して作業を実施すること。
- (5) 電源を使用する場合は、容量オーバーによる停電が起きないように注意すること。
- (6) 建物、工作物、器具及び備品等に毀損を発見したとき、又は損害を与えたときは、直ちに発注者へ報告すること。
- (7) 建物環境において、不衛生な措置をとらないこと。
- (8) 作業途中での休憩及び作業終了後は、各用具・資材の整理整頓並びに格納を行い、安全で清潔な管理を行い、作業事故・来館者等の事故防止に努めること。
- (9) 本仕様書に定めのないことは、発注者との協議・別途見積など、誠意を持って対応すること。

9. 支払計画

委託料の支払いについては定期払いとし、受託者は速やかに前月に実施した業務に関する履行報告書及び委託料請求書を発注者に提出するものとする。

作業時間帯について

作業時間帯は原則として午後 1 時 15 分から午後 5 時 15 分までの間に行うこととする。

業務内容について

水・金・日曜・祝日は主として 1・2 階、月・木・土曜日は 3・4 階を主として作業する。トイレ清掃については毎日行うこと。

※詳細は日常清掃内訳書及び定期清掃内訳書を参照

(1) 日常清掃

①床面清掃

床材に適した資機材・方法を選択し、行うこと。

②トイレ清掃

衛生面を考慮した資機材・方法を選択し、行うこと。

③会議室・展示室等の専用部分清掃

使用時間に配慮し、利用者目線で行うこと。会議室を使用中の場合は原則として行わないこと。

④エントランス・廊下等の共用部分清掃

利用者の状況に配慮し、行うこと。

⑤敷地内清掃

適宜実施すること。

⑥ショーケース・タッチパネル等の展示用備品並びに機器清掃

乾いた布等を使用し、適宜行うこと。

(2) 定期清掃（作業回数 1 回／年）

①床面洗浄ワックス塗布

適正洗剤・パッドにて洗浄後、適正ワックスを塗布すること。

②磁器タイル洗浄

適正洗剤・ブラシにて洗浄すること。

③カーペット洗浄

適正洗剤にて洗浄後、十分に乾燥すること。

④フローリング洗浄

適正洗剤にて洗浄し、必要に応じてワックス塗布すること。

⑤ガラス清掃

高所作業車・ブランコ・脚立にて、安全に十分に配慮して、実施すること。
また、別館においては、周囲の木質部分への影響を、最小限に抑える作業方法にて実施すること。

(3) 特別清掃

①本館階段部分高所埃取り

利用者の目線に配慮し、適宜行うこと。

②トイレ内エアータオル

月に2回、フィルター清掃を行うこと。

③畳拭き・床の間

定期的に行うこと。

④影絵「大曲の花火」

毎月最初の休館日に水槽及び鏡面の清掃、並びに水槽内の水を入れ替えること。

※清掃及び水の入替の作業方法の詳細については事前に発注者と協議すること。

(4) その他

①トイレトペーパー等の消耗品

発注者と協議し、適正に管理すること。

※面積 本館 (1661.13 m²) ・ 別館 (401.57 m²) ・ 敷地 (5,230 m²)